

輸送動向について(平成23年5月分)

平成23年6月

1. 輸送概況

東日本大震災の影響により常磐線の不通が続いており、東北線を用いて一部の貨物列車の迂回運転を行っている。これに加えて、中旬には広島地区の大雨による輸送障害もあり、月全体では高速貨341本、専貨44本が運休した。

荷動きについては、全国的な企業の生産活動の落ち込みの影響を大きく受け、全体では低調に推移した。なお、震災後の物資不足への対応のため一部の地域で飲料水などの出荷が旺盛となったことから、ゴールデンウィーク期には貨物列車の追加運転を行った。

コンテナ貨物は、紙・パルプをはじめ、自動車部品、積合せ貨物などほとんどの品目が前年を下回り、全体では前年比91.5%となった。紙・パルプは東北地区の生産拠点の操業停止が続き大幅な減送となった。自動車部品はメーカー各社の操業が再開したものの部品供給網の寸断を受け減産が継続した。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年を上回ったものの、石油などが前年を下回り、全体では前年比96.4%となった。石油は被災地に向けた臨時石油列車の運転を継続しているものの、一部製油所の被災及び価格の高騰の影響により減送となった。セメント・石灰石はセメント工場が前年の定期修理に伴う出荷停止の反動により増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,401	1,531	91.5%	2,873	3,333	86.2%
車 扱	638	661	96.4%	1,396	1,603	87.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	103	109	-6	94.5%
	化学工業品	144	153	-9	94.1%
	化学薬品	111	116	-5	95.7%
	食料工業品	227	234	-7	97.0%
	紙・パルプ	188	248	-60	75.8%
	他工業品	106	121	-15	87.6%
	積合せ貨物	155	167	-12	92.8%
	自動車部品	48	61	-13	78.7%
	家電・情報機器	35	35	0	100.0%
	エコ関連物資	25	27	-2	92.6%
	その他の他	259	260	-1	99.6%
コンテナ計	1,401	1,531	-130	91.5%	
車 扱	石油	419	462	-43	90.4%
	セメント・石灰石	103	52	51	197.5%
	車 両	58	67	-9	85.9%
	その他の他	58	80	-22	73.4%
	車 扱 計	638	661	-23	96.4%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)